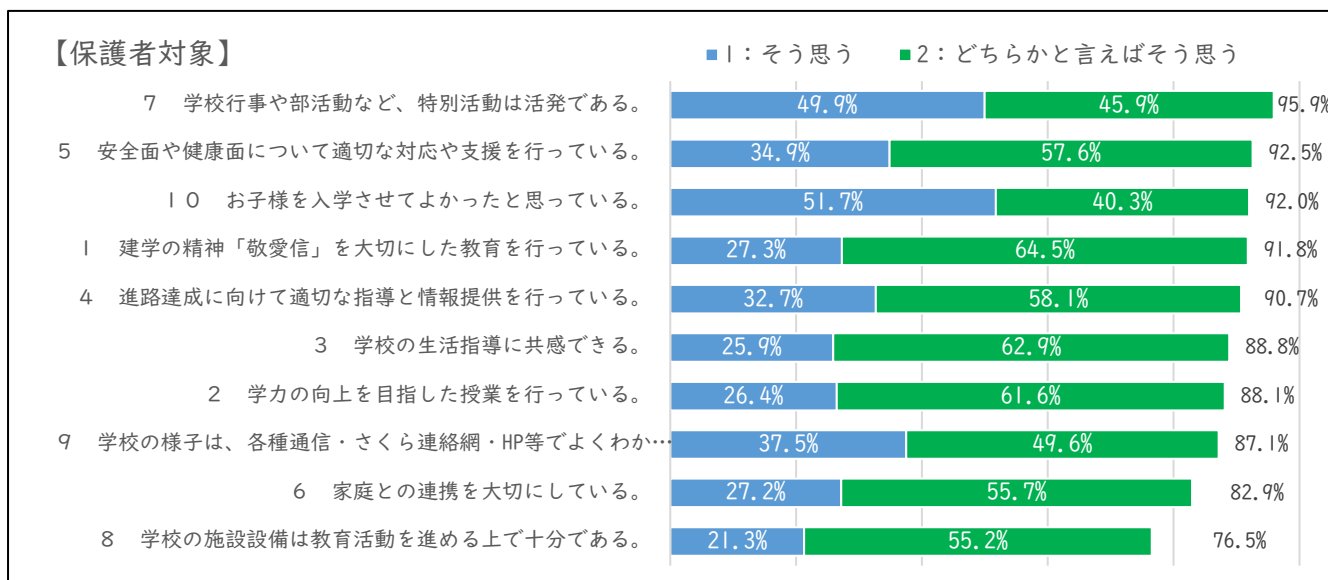
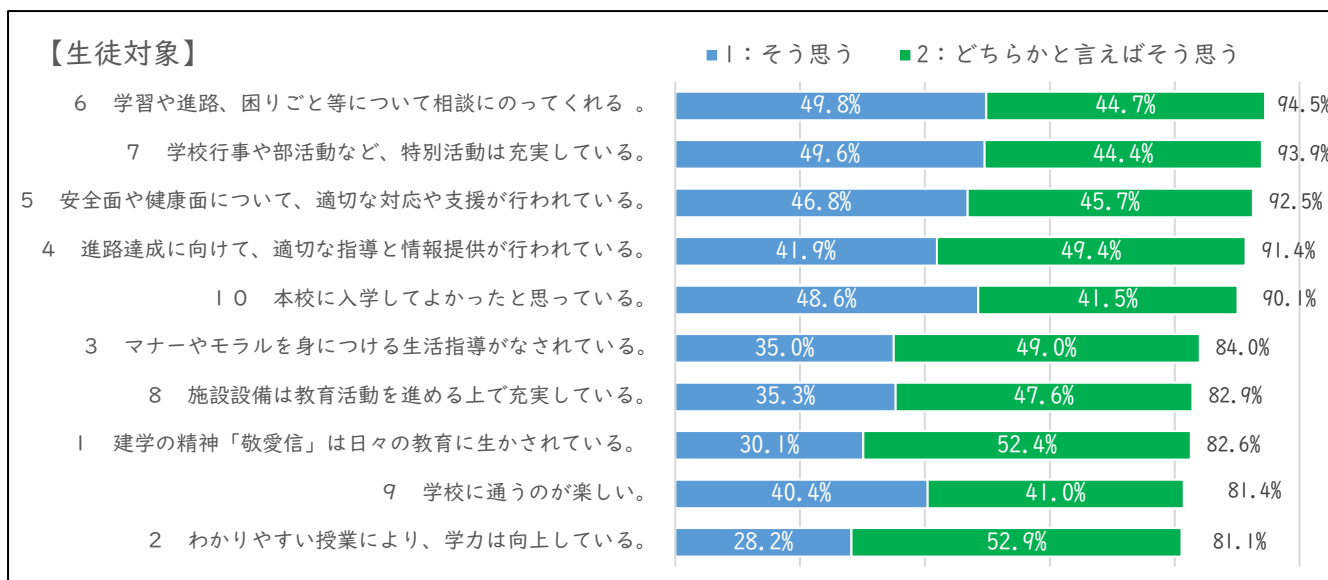


## 令和6年度学校評価アンケートのまとめ（令和7年2月実施）



### 【概要】

- ① 「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の合計で90%を超えたのは、生徒が5項目、保護者が5項目で、前年度と同じだったが、全体的にポイントは下がった。
  - ② 生徒で最も評価が高かったのは「学習や進路、困りごと等について相談（94.5%）」で、最も低かったのは「分かりやすい授業（81.1%）」である。「学校に通うのが楽しい（81.4%）」が2番目に低く、不登校傾向を持つ生徒への包括的な支援が必要になっている。
  - ③ 保護者で最も評価が高かったのは「学校行事や部活動など特別活動が活発（95.9%）」で、最も低かったのは「学校の施設設備（76.5%）」である。「施設設備」については80%を大きく割り込み、トイレの改修や屋外の体育施設の設置を求める声があった。次年度は特進科棟1階のトイレ改修を予定しており、計画的な施設設備の改修を進めていきたい。
  - ④ 生徒の評価で向上しているものは「学校行事や部活動など、特別活動は充実」で3、4年前に比較し6～7ポイント上昇している。逆に低下しているものは「施設設備」である。
  - ⑤ 保護者の「家庭との連携（82.9%）」は決して高い評価とは言えず、コロナによる制限が解除され学校生活が通常に戻っている中、保護者との連携をより一層密にしていきたい。
  - ⑥ 自由記述の「良い点」として、生徒は「クラスマッチや文化祭が楽しい」「個性を大事にしてくれる」、保護者からは「先生方が熱心」「ICTの活用」「親身な進路指導」「多様な生徒がいる中で学ぶことができる」など、たくさんの声が寄せられた。
  - ⑦ 自由記述の「改善すべき点」として、生徒からは「校則をしっかり守らせるべき」という声が多い一方、保護者からは「時代にあった校則の見直し」も散見された。授業についても、「もっとわかりやすく」という声がある一方、「授業のレベルを上げてほしい」という意見もあり、集団の中で何を優先させるべきか悩ましい。また、保護者からは部活動に関する要望が多く寄せられた。
- ※ 本アンケートの結果については、自由記述のご意見も含め教職員で共有するとともに、学園評議員会等で外部の意見を求めながら、今後も生徒・保護者を第一にした学校運営に努めてまいります。